

# 総合計画や財政計画に基づく くらしの笑顔が広がる

## 町民・行政・議会が一体となり 地域に根ざしたまちづくりを

町民の皆様新年あけましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を皆様とともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

一昨年の3月27日に安平町が誕生してから、早いもので一年九ヶ月が経過しました。合併後の町内のインフラ整備や各種の事務調整等も順調に進められ、役場等の事務も落ち着いてきたように感じます。

昨年の安平町は、経済の中心となる農業は、地球温暖化の影響なのか、天候が安定していたにもかかわらず稲作だけが最も重要な時期に寒い日があったため、残念ながら平年並とはなりませんでした。

しかし、明るい話題もたくさん

有り、元気を与えてくれました。早来中スケート部が全国大会で男子が総合3連覇、女子とアイスホッケーが準優勝と大活躍し、全国から注目を集めました。

また、G1レース7勝を達成し惜しまれながら引退、町特別栄誉賞を贈られたディープリンパクトには多くの競馬ファンが全国から訪れました。

さらに安平町出身の馬が多くのG1を勝利し、夢と希望を与えてくれました。

しかし、近年の急速な少子高齢化や都市部への人口一極集中により、地方は、合併をしても財政は依然として厳しい状況にあり、とりわけ北海道は、経済状況が好転せず、財政破綻する自治体さえも生まれています。

こういう時勢だからこそ、町の財政規模に応じ、町民・行政・議会が一体となり理解を深め、一歩一歩地域に根ざしたまちづくりが必要と考えます。

昨年の3月議会でもまちづくりの幹となる基本構想、基本計画

実施計画からなる「くらしの笑顔が広がる ぬくもりと活力と躍動のまち」をキャッチフレーズとした総合計画が満場一致で可決されました。

今年の干支はねずみですが、背伸びをせず、身を引き締め、しつかりと大地を踏みしめ、町民の付託にしつかり応えられるよう議員一同努力する所存でございます。

最後に、平成20年が皆様にとりましてご健勝で幸せ多い年であり、新年のごあいさつといたします。



安平町議会議長  
泉田 英吉



早来工営札幌工場視察(昨年7月13日)

謹賀新年

### 安平町

町長 瀧 孝  
副町長 幅田 和夫  
" 田上 晴正

### 安平町議会

議長 泉田 英吉  
副議長 竹内 亨  
議員 田村 興文  
" 鳥越真由美  
" 星 志直  
" 高山 正人  
" 多田 政拓

" 山田 尚孝  
" 工藤 隆男  
" 工藤 芳男  
" 谷村 琢哉  
" 眞鍋 高一  
" 島田 俊明  
" 納口専納助

" 小路 健男  
" 牧田 弘満  
" 佐藤 進